

【 第35回材料科学研究助成金募集要項】

令和2年4月9日

公益財団法人 日立金属・材料科学財団

理事長 後藤 良



1. 研究の対象

- (1) 工業材料の科学技術に関する研究のうち、主として素形材を含む構造材料、電子材料、磁性材料等の分野の基礎または応用における先端的研究
- (2) 独創的なもので、将来実用面で大きな成果が期待できる研究
- (3) 既に他の民間機関から、同様なテーマで研究助成を受けていない研究
- (4) 大学等またはその付属研究機関の45才までの若手研究者が携わる研究

※ 但し、過去に本財団より助成を受けている研究者を除きます。

2. 研究助成制度

	一般助成制度	特別助成制度
助成分野	金属材料/材料物性/無機・セラミックス材料 /有機・高分子材料	鉄鋼・鋳鉄 (超合金等の特殊用途鋼や鋳鋼等を含む)
助成金額	80万円/件	50万円/年×3年間
助成件数	計10件/年	1件程度/年
助成対象 期間	1年間 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)	原則3年間 (令和3年4月1日～令和6年3月31日)
成果報告書 (公表します)	・助成終了の翌年度4月に成果報告書	・前年度の成果と当年度の研究内容を 毎年度末に簡潔に報告 ・助成終了の翌年度4月に成果報告書
審査・採択	助成分野毎に、学識経験者による審査・ 審議を経て、採択テーマを理事会へ答申 して決定	[一般助成]金属材料への応募テーマと一 緒に審査・審議。[特別助成]の第1位を [特別助成]として採択。第2位以降は [一般助成]金属材料の採択順位内で あれば[一般助成]として採択。 採択テーマを理事会へ答申して決定

3. 応募方法

電子版の応募書類に必要事項を記入の上、出力して当財団まで郵送願います。

応募書類は選考作業のみに使用します。なお、書類のご返送はいたしません。

- * 各大学の学長、学部長、研究科長、または付属研究機関長の推薦書（様式1） 正1部
(推薦書には捺印が必要となります。)
- * 材料科学研究助成金 研究計画書（様式2-1、2-2） 正1部、副4部
- * 主要発表論文別刷り(複写可) 1～2件 各4部

なお、応募は原則的に1大学あたり、一般助成制度、及び特別助成制度各1件以内ですが、
一つの大学に複数の研究機関があって、大学として1件に絞れない場合は、1研究機関
あたり各1件以内として、一つの大学から複数の応募を受け付けます。

4. 選考方法

当財団の定款に基づく選考委員会により厳正に選考を行い、その答申に基づき、理事会が
助成テーマを承認します。

5. スケジュール

応募期間 : 令和2年4月15日から 令和2年6月15日
選考結果連絡 : 令和2年10月上旬
贈呈式 : 令和2年11月13日 (品川)
助成金振込 : 令和3年3月初旬
研究期間 : 【一般助成】 令和3年4月1日～令和4年3月31日
 【特別助成】 令和3年4月1日～令和6年3月31日

6. 応募書類の送付先

〒108-8224 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス24階
公益財団法人 日立金属・材料科学財団 事務局
TEL: 03-6774-4271 FAX: 03-6774-4350

新型コロナウイルスに関わる緊急事態宣言に伴い、5月6日まで原則としてテレワークを実施しているため、上記電話はつながりにくくなっております。ご不明な点は以下のメールアドレスへご連絡ください。
公益財団法人 日立金属・材料科学財団 野澤康人 yasuto.nozawa.pc@hitachi-metals.com

(付記)

採択された助成テーマ名、研究者とその所属は公表されます。

当財団は、わが国の鉄鋼圧延鋳鉄ロールの先駆者である日立金属(株)元副社長 故宮下格之助博士のご遺志によって昭和61年設立されたもので、当財団の助成金を「材料科学研究助成金」と名付け、材料研究に対する氏の熱意と功績を永く記念するものであります。

当財団のホームページ(<http://www.hm-foundation.jp>)に、過去の助成テーマ等を掲載しておりますのでご参照下さい。

ご参考: 応募件数と採択件数の推移

採択年度	H27	H28	H29	H30	R01
応募件数	55	53	38	33	23
採択件数	11	12	10	11	11

以上